



親子で合唱を披露

4年ぶりに初夏の音楽会 23日にはバンドフェス

第48回初夏の音楽会（初夏の音楽会実行委員会主催）が6月11日回にエコルマホールで開催され、合唱、器楽の15団体と狛江第三中学校吹奏楽部、狛江高校箏曲部、同弦楽合奏部、同吹奏楽部の19団体が7時間にわたって日頃の練習の成果を披露した。

共催の狛江市音楽連盟が、所属団体などに呼びかけて実行委を組織し企画と運営にあっている。実行委によると「50年以上前から催してきたが、コロナ禍による中断で4年ぶりとなったため、まごつく場面もあったが、この日を待ちわびていたので、笑顔で良い演奏ができた」と喜んでいました。

また、23日回には午前11時から狛江バンドフェスティバル vol23が西河原公民館で開かれ、12団体が出演する。入場料は1,000円で泉の森会館で販売中（当日券あり）。

問い合わせ ☎080-5177-3938 山本さん。

本場のウクライナ料理 国際交流サロンで教室

狛江市国際交流協会（吉野琢也会長）が6月10日回に中央公民館で料理を通してウクライナを知る体験会を開催、小学生からシニアまで24人が参加した。

世界各地の文化と交流を深めることを目的に催している「国際交流サロン」の人気イベント。ウクライナ出身で国際結婚で狛江に住むリセンコ・ナタリアさんと、ウクライナから避難して同居してい

る母親のマリアさんが講師となり、ナタリアさんの娘のアデリーナさんが通訳と助手役を務めた。ボルシチ、キーウカツレツ、ベーコンときのこ、そばの実のカーシャ、キャベツサラダ、ベリージュースという5品の本場の家庭料理の習得に、参加者たちは熱心に取り組んでいた。

友人と参加した小学生は「カツレツの肉を叩くのが大変だったが、初めての体験でおもしろかった。スマチーノ（おいしい）」と習いたてのウクライナ語を交えて料理をほおぼっていた。小学3年生の息子と参加した女性は「家でもウクライナの味をぜひ作りたい」と話していた。食後にはマリアさんがウクライナの歌を披露、大きな拍手が寄せられていた。



キーウカツレツを習う参加者

所作台に敬意と感謝込め お別れのワークショップ

西河原公民館にある所作台を使って能や琉球舞踊の足運びなどを体験するユニークなワークショップが6月16日回に開かれた。

「ありがとう！所作台ワークショップ」と題されたイベント



所作台で足運びを体験

は、経年劣化と収納場所などの理由で、今年度限りで処分等が予定されている所作台に敬意と感謝を表そうと催された。この所作台は昭和47年に開館した福社会館（西河原公民館の前身）のホールの舞台で使う備品として購入された。所作台はヒノキの板で作られ、舞踊の足さばきや足拍子を良くするために使われるもの。非常に高価で、傷を付けないようていねいに取り扱い必要があるという。ただ、引き継いだ西河原公民館では、所作台として使われた記録は少ないという。

ワークショップは、数年前に同館の所作台の存在を知った俳優の高山正樹さんらの提案で同館が企画した。能楽師の中村昌弘さんが所作台について、「ひのき舞台上がる」という言葉の元になったなどと説明した後、能「羽衣」の一部を披露、沖縄舞踊家の宇夫方路さんと藤元幸さんが「かぎやで風」を舞った。続いて、参加者が所作台に上がって、講師の指導で能と琉球舞踊の足運びを体験した。参加者は「非常にマニアックな内容だったが、おもしろかった」と話していた。

こまえくぼ1234フェス 物産販売や講演など人気

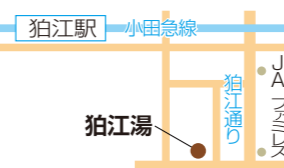
「第3回こまえくぼ1234フェスティバル」が5月21日回にこまえくぼ1234で催され、家族連れなどでにぎわった。

会場では愛知県西尾市のうなぎや茨城県境町の野菜などの物産、社会貢献事業所の料理やコーヒー豆、菓子などを販売、開場時間前に行列ができたほど盛況だった。

また、狛江ラジオ放送(株)代表取締役の松崎さんの講演、5つの登録団体のコラボレーションによるオカリナの演奏、絵本の読み聞かせなども人気を集めた。

Shop & Service Guide ...25 いらっしゃいませ

狛江湯



市内で最も歴史のある銭湯の狛江湯が、人と人との出会いと様々な体験ができる街の「ハブ」をめざしてリニューアルオープン。カフェバーを併設したしゃれなデザインの新しい銭湯が若者をはじめとより幅広い人の人気を集めている。

同浴場は長谷川喜七さんが昭和29年に創業した。長谷川さん夫妻が亡くなった後は4人の娘が跡を継ぎ、平成4年に1階にサウナ、水風呂、ジャクジーを備えた銭湯とコインランドリー、店舗、2、3階を住宅にしたビルを建設して営業を続けた。

現オーナーの西川隆一さん（44）は創業者の孫で、経営を引き継ぐにあたって、美術大学卒業以来約15年間、同浴場で働きながら得た経験を生かして構想を練り上げた。内外で活躍する建築家の長坂常さんが手がけた銭湯を建築雑誌で知って改修プロジェクトを依

街のハブめざしてリニューアル カフェバーを併設、サウナも人気



ジェットバス

サウナ

☎3489-3881 東和泉1-12-6、営業時間=午後1時～11時(入店10時30分)、火曜休み

平和への願い紙芝居に 語り継ぐ狛江の空襲

狛江第一小学校の前身で狛江駅前にあった狛江国民学校の空襲をテーマにした紙芝居「戦争と狛江の子ども達」が5月28日回午後狛江駅北口交通広場で披露され



駅前紙芝居熱演

た。訪れた人の多くは、初めて知るわが町の戦争の記録に驚きながら、真剣な表情で聴き入っていた。紙芝居「戦争と子ども達」継承グループ&こまえ平和フェスタ実行委員会が9月3日回にエコルマホールで催す「こまえ平和フェスタ2023」のプレ企画として実施したもの。

紙芝居は、市が発行した『語りつぐ戦争体験』を基に、昭和20年5月25日に米軍爆撃機B29の焼夷弾で国民学校が全焼した話を、平成10年度に市民が21枚の



写真提供：狛江湯（3枚とも）

入口とカフェバー

頼、西川さんも美大出身の知識を生かして参画した。出来上がった狛江湯には従来の銭湯のイメージにとらわれないアイデアが施され、内装に特注した緑色のタイルを使うほか、浴室に休憩用のイスを置いたり、脱衣所を使いやすくするなど、細部にまで工夫がこらされている。

メインとなる浴室は、くみ上げた井戸水を使い、少し高め42度の「あつ湯」、少し低めの「高濃度炭酸泉」、14度の水風呂の3種があり、好みに応じて楽しめる。「あつ湯」にはジェットバスが付いている。

サウナ（別料金）は床や壁に国産ヒノキを使い、放射熱効果が高い麦飯石を使った85度と高めの温度設定になっており、発汗作用が高く、水風呂と交互に使うと血液循環が促進されると好評だ。

入口は番台にあたるフロントと下足箱などが一体となった広い空間で、カフェバーが併設されている。カフェバーにはビールサーバーが置かれ、狛江産などのクラフトビールをはじめとしたドリンク類やつまみを提供。横の空き地にもテーブルを置いて、開放的な空間で風呂上がりの一杯を楽しめるようになっている。

リニューアルオープンから約2カ月経つが、連日多くの客が訪れる人気で、西川さんは「電車を使って来店するお客様も多く、市外の方が半数を占めています。いろいろな人がコミュニケーションできる未来型の銭湯として、多くの人に楽しんでいただきたいです。今後はキッチンカーを呼んだり、イベントも開催したいです」と夢を膨らませている。

紙芝居にした。語るには20分以上かかる長編で、4人が交代で演じた。会場の子どもから高齢者は臨場感あふれる紙芝居や、こまえきんたの会による南京玉すだれに見入っていた。

29日回10時からむいから民家園でも「むかし 狛江で」と題して紙芝居「戦争と狛江の子ども達」と「カッパのクー助」の上演や狛江の昔話を収めた絵本の読み聞かせを行う。

問い合わせ ☎3480-7477 西尾さん。